

SMFGは、三井住友銀行の投資銀行部門および大和証券SMBC(株)をはじめとするグループ金融会社を通して、法人のお客さまに対する多様な資金調達手段、M&Aや証券化といった金融ソリューション、投資信託等の資産運用商品などを提供しています。

【前年度の成果】

シンジケーション

三井住友銀行は、「市場型間接金融」を代表する資金調達手法であるシンジケートローンで大企業から中堅企業層まで積極的に推進し、国内での組成件数490件(前年比141件増加)、組成金額5兆5,000億円(同1兆円増加)と業容を大きく拡大しました。また、三井住友銀行は、これまでに80件以上のバンクミートリング開催をアレンジし、お客さまのスムーズな資金調達をサポートしてきました。

デリバティブ

金利・為替リスクを対象とする伝統的な商品に加えて、原油等を原資産とするコモディティ・デリバティブ取引を拡大(前年度比5倍以上)するなど、お客さまのさまざまなリスクヘッジニーズに対応した商品を充実させています。

ストラクチャード・ファイナンス

特許権・知的財産・動産を担保としたファイナンスなどの新たな金融手法や、MBOファイナンス・不動産ファイナンスといった成長分野に積極的に取り組んでいます。また、プロジェクト・ファイナンスで、アジアで第2位(邦銀では1位)の評価をいただいているほか、国内PFI市場でも、国のPFI第1号事業(公務員宿舍赤羽住宅)で主幹事を獲得しました。

資本市場からの資金調達

大和証券SMBC(株)では、三井住友銀行との連携の効果もあり、普通社債および新規公開株式主幹事リーグテーブルで第1位を獲得したほか、既公開株式主幹事リーグテーブルで第2位を獲得しました。

【今後の取り組み】

新しいファイナンス手法への取り組み

SMFGは、市場型間接金融手法を中心とする、お客さまのニーズに合った先端的で多様な金融商品を提供してまいります。シンジケーションでは、国内外での豊富な経験を活かし、お客さまにご満足いただける革新的なサービスの提供にますます注力し、また、三井住友銀行本体の信託機能も活用して資産流動化分野などでの新たな金融商品の開発を進めてまいります。

専門的な金融ソリューション提供能力の強化

お客さまの潜在的なニーズに的確にお応えする専門的な金融ソリューション提供能力の強化を進め、お客さまの積極的な財務戦略や事業戦略の展開をお手伝いしてまいります。特に、事業再編の分野においては、当グループの幅広い情報網を最大限活用し、付加価値の高い提案を実施します。厳格なコンプライアンス管理のもと、三井住友銀行と大和証券SMBC(株)が連携して、企業の売却・買収・合併、資本提携、合併企業の設立、MBO等、さまざまなケースについてお手伝いします。

業務環境変化への対応

市場誘導業務や証券仲介業務の解禁に対応して、お客さまの直接金融に関連するニーズに応え、一層の金融サービス向上を図ってまいります。

IPO公募・売出ブックランナー

(2003/4/1-2004/3/31)

順位	証券会社	発行数	額	シェア
		(百万円)	(%)	(%)
1	大和証券エスエムビーシー	21	201,053	30.29
2	日興シティグループ証券	18	182,611	27.51
3	野村証券	26	171,730	25.87
4	モルガン・スタンレー証券	2	27,691	4.17
5	新光証券	19	17,024	2.56

(出所) THOMSON DealWatch

既公開公募・売出ブックランナー

(2003/4/1-2004/3/31)

順位	証券会社	発行数	額	シェア
		(百万円)	(%)	(%)
1	野村証券	73	653,709	38.49
2	大和証券エスエムビーシー	42	476,186	28.03
3	日興シティグループ証券	24	447,636	26.35
4	UBS証券	1	30,973	1.82
5	新光証券	17	26,396	1.55

(出所) THOMSON DealWatch

普通社債主幹事(自社債を含む)

(2003/4/1-2004/3/31)

順位	証券会社	発行数	額	シェア
		(百万円)	(%)	(%)
1	大和証券エスエムビーシー	115	1,903,716	20.7
2	野村証券	115	1,794,312	19.5
3	みずほ証券	105	1,442,265	15.6
4	三菱証券	54	1,089,554	11.8
5	日興シティグループ証券	76	1,040,672	11.3

(出所) Thomson Financial, THOMSON DealWatch